

## 「どうせ准看護師だから」からの卒業



(プロフィール)

### 大家圭子 氏

所属 熊谷総合病院

勤続 29年目

卒業校 深谷大里看護専門学校  
2年課程通信制在学

准看護師として長いキャリアを積み、本会の准看護師理事でもある大家圭子氏。なぜ看護師への挑戦を始めたのか、ベテラン准看護師から看護師に、そしてその先にどんな展開を見据えているのかについて伺います。

#### —進学された理由をお聞かせください

前部長の頃から、准看護師へ進学を勧める声掛けはあったのですが、私は子育て優先として見送っていました。2018年から看護協会の理事に就いたことをきっかけに様々な情報にふれて、育児がひと段落し、50歳を目前に最後のチャンスと思い、進学を決めました。病院では、看護部長も、看護科長もエールを送ってくださっています。家族からは「いいんじゃない？」という反応が返ってきました。

#### —進学のために準備したことはありますか

受験は小論文の評価だったので、これとってはありませんでした。学費については、いろんな奨学金があるのですが、実は手続きが間に合いませんでした。使えばよかったと思ったのは、ハローワークから給付される「専門実践教育訓練給付金」です。一定の条件を満たすことで、費用の約50%相当が支給されるので、これから進学される方にはぜひ使ってほしいです。

学費以外では、始めに教科書代がかかるので、予定しておくと思いいます。

#### —仕事と勉強の両立で苦勞されていることはありますか

とにかく勉強の時間をとるのが大変です。授業を受けるために仕事を休むので、“休日”といっても休むという状態にはなりません。ハッと気がつくと寝ていたこともあります。

あとは、深夜に勉強していて、資料を読んでも理解が追いつかない時など、先生に質問（メール）することに躊躇することもあります。勉強時間を確保すること、勉強時間を1日のうちのどこに配分するかなど、とにかくそれが一番厳しいし、自分の時間をどうコントロールするかです。

#### —勉強のことなど相談する相手はいますか

何が分からないのか、何を質問すれば良いか分からなくなることもありますが、スクーリングの時に先生が声をかけてくれるのは励みになります。一緒に学んでいる同期と実習で会った時に少し話をするのも気持ちを前向きにしてくれます。

国家試験対策やレポートの形式などは、同じ学校を卒業した先輩に相談することも多いです。コロナがなくて、学校で授業を受けることができればもう少し違うやり方もあるのかなとは思いますが、周囲に支えられているなどと思っています。

### —准看護師と看護師、現場で違いを感じることはありますか

7年前、オペ室で勤務していた頃は感じませんでした。外来当直をするようになって、トリアージ加算が准看護師では取れない現実に直面しました。私が記録しても、看護師の方にトリアージ記録のやり直しをさせていただかなければならない。診療報酬という明確な基準の前には准看護師と看護師の間に大きな違いがあります。

### —進学し、勉強を進める中で改めて准看護師と看護師の違いをどのように捉えていますか

看護の展開について、今まで教わっていなかったことを学んでいます。教わっていなくても、准看護師として医師や看護師の指示の下、ケアを実施していました。技術的には准看護師としてのケアと変化はありません。しかし、学ぶ機会を得たことで、そのケアが患者さんにとってなぜ必要なのか、どのタイミングで行うのがベストなのか理解して動くことができるようになりました。

### —看護師資格取得後のキャリア展望について聞かせてください

今は学校を卒業することしか頭にないのですが、訪問看護などにも挑戦してみたい気持ちがあります。

### —准看護師として働いている方に進学を勧めたいですか

准看護師の方で訪問看護の現場で働きながら看護師に挑戦している方がいます。准看護師のままでは、いくら経験があっても新人さんにアドバイスするのに遠慮しなければいけない事例を経験したり、何より点数が低くついてしまうことなどで悔しい思いをして55歳で進学したそうです。

育児や介護、その他の事情等でパートとして准看護師でいる分にはいいと思います。ですが、常勤では仕事がいくらできていても区別があります。

“准看護師だから”と見られます。看護師資格をとれば制約はなくなる。とはいえ、なかなか踏み出せない気持ちもとてもよく理解できます。

### —どんな働きかけが准看護師の進学支援になるでしょうか

看護管理者からの働きかけは、原動力になると思います。私は前部長から何度も「進学して資格を取れば、もっと違う看護ができるのよ」と言っていただきました。期待をさせていただいているのかと感じて嬉しかったです。また、就職先の選択肢の多さ、待遇の差など、看護師になることで自分の将来が広がることを知ることも進学への後押しになると思います。

### —進学を迷っている方へメッセージをお願いします

迷っているならば、早いうちに行動に移した方がいいです。10年以上前から迷って、いま進学した私は、もっと早くに学校に来ればよかったという気持ちがあります。これまで働いてきた中で、どこかに「私はどうせ准看護師だから」という考えがありました。今は、資格を取った後に自分の気持ちがどんなふうになるのか、期待する気持ちがあります。働きながら勉強するのは、大変ですけど、60歳を過ぎて勉強されている方もいます。一緒に頑張りましょう。

(聞き手：看護を考える委員会 委員長 石川治美)

#### メッセージ

母が一念発起し、眠い目をこすりながら資格取得に向けて努力している姿を見ている。私自身、幼稚園教諭としての仕事をスタートしたタイミングであったため、仕事をしながら勉強していることに驚きと尊敬があります。体にだけは気を付けて、お母さん、頑張っね。

大家圭子氏の娘さんより